

# ごんた坂

第18号

(光陵高校同窓会会報)



〈発行所〉 神奈川県立光陵高等学校光陵会

〈印刷所〉 SALAT 株式会社 サラト



中井 泉氏の講演



## 会長挨拶

会長 太田 秀和 (2期生)

光陵高校の創立50周年式典が2年後の平成27年に開催されます。卒業生の皆さんそれぞれの3年間の積み重ねられて、50年という歴史ができました。わずか3年間でしたが、今も続く先生方、仲間達との交流は、私達の大切な財産です。

いままでは光陵の卒業生本人との出合いがすべてでしたが、最近、卒業生のお父さん、卒業生のお子さんとの出合い等があり、出合いの範囲が広がってきました。お話をしているうちに「実は私の娘は光陵の卒業生です。」「太田さんの知っているあの人は私の子供です。」等、光陵の2文字が出てくるだけで、相手の方との距離がぐっと縮まります。昔からの知り合いのように会話がはずみます。そして楽しい時間が広がります。

光陵会の事務局は「光陵が好き!」というエネルギーで運営されています。43期の事務局長を中心に40期代の学生の皆さんが活動しています。社会に出てからも十分に通用する実践的な運営がなされています。役員会、幹事会が設けられていて30期代の社会人の先輩方がいてねいにフォローをしています。社会人の先輩方のアドバイスを受けることにより、学生のうちから社会に旅立つ心構えができます。さらには、学生時代にはあまり経験しない年齢の離れたいろいろな個性を持った先輩達と接することにより、言葉使い、礼儀など社会人としての基本が身に着いていきます。実際に総会、幹事会に出席していただければ、事務局の皆さんの高いレベルを実感していただけたと思います。

光陵高校は2年後50周年を迎えます。母校から記念誌の制作費用を光陵会で持って欲しいという依頼がありました。卒業生の皆さんの思いが込められた記念誌を作るべく、編集委員が動き始めようとしています。我々の足跡を残す作業でもあると思います。我々の寄付金で我々の歴史が正しく、温かく、残されるように協力しようではありませんか! 具体的な方法については後日連絡させていただきます。ご協力よろしくお願いたします。

平成25年3月16日から、西武、東急、東武、東京メトロ、横浜高速鉄道の5社が相互乗入れをしました。横浜～所沢70分、横浜～川越78分。お客さまの利便性を考えた画期的な動きだと思います。卒業生の皆さんも従来の常識にとらわれることなくチャレンジし、各分野で活躍されることを心から願っています。

「総会・懇親会」や「青春かながわ校歌祭」などでお会いできることを楽しみにしております。



## 平成24年度 総会



## 事務局長挨拶

事務局長 内山 唯 (43期生)

「卒業した後でもいつでも気軽に帰って来ることができる。」これが光陵の特徴ではないでしょうか。

先日私たち43期は成人式を迎え、事務局スタッフを中心に同窓会を開催しました。記録的な大雪にも関わらず卒業生の2/3以上が参加し、大変賑やかな会となりました。この会で最も印象的だったのは、卒業生が今でも光陵に様々な形で関わりを持っているということです。同窓会と言えば思い出話を花を咲かせるのが一般的ではないでしょうか。しかし光陵の同窓会では同窓生同士の関わり、部活や行事での現役生との関わりなど、光陵を卒業してからの話で大いに盛り上がりました。卒業してからもこれほど母校に関わりをもち続けられるのは、光陵が帰ってきやすい場所だからでしょう。私自身、光陵を卒業して早2年、光陵会に部活動にと母校に通い詰めています。来年には教育実習生として教壇に立つことが決まっております。今でも光陵と関わりをもち続けている卒業生の一人です。

これは43期に限ったことではありません。昨年11月に行われた青春かながわ校歌祭では、卒業生の1期から44期、そして現役生である46、47期と現教職員の方々が一堂に会し、校歌を歌いました。「何期であろうと光陵の卒業生はみな、光陵生としての誇りをもち続けているのだ」と嬉しく感じた瞬間です。

今回皆さまにお届けするこの会報は、光陵会の中でも学生の事務局スタッフを中心となって作成いたしました。未熟ながらも先輩方のアドバイスを受けつつ、必死に「光陵の今」を追いかけた内容に仕上げました。この会報は卒業後も光陵と密に関わりをもち続けている方だけではなく、光陵とは少し疎遠になっているな...という方々にも「光陵の今」を感じていただけたと思います。少しでも多くの方が今回の会報を読んで、光陵に帰ったような気持ちになっていただければ幸いです。

最後に、この場をお借りして会報発行に際してお世話になったすべての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。今後とも光陵会をよろしくお願いたします。



# 平成25年度 光陵会総会・懇親会のご案内

## ○総会

日時：平成25年6月8日(土)  
14:00～(13:30より受付)  
会費：無料  
場所：光陵高校第一視聴覚室  
(横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1)  
※上履きは各自でご持参ください。

### 【会則改正案の決議について】

総会にて光陵会会則改正案の決議が行われる予定です。詳細については紙面の都合上割愛させていただきます。

## ●特別講演●

### 「『ごきげん』のすすめ」

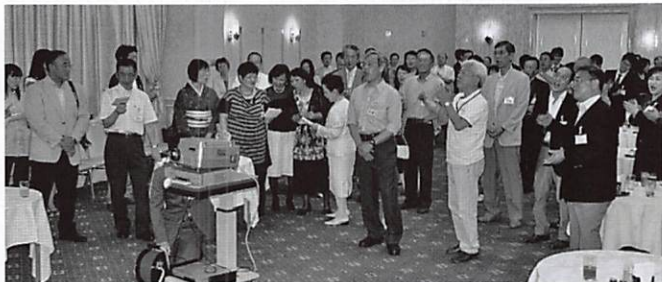
「自分を変える」きっかけがここに!?  
今回限りの特別な講演です。ぜひお越しください!

#### 講師

上大岡 トメ (久家 幸子) 氏 (イラストレーター)

#### 略歴

光陵高校卒(16期生)、東京理科大学工学部建築学科卒、大成建設を経てイラストレーターに。一級建築士。『キッパリ! たった5分で自分を変える方法』(幻冬舎、2004)がベストセラー。



## ○懇親会

日時：平成25年6月8日(土)  
17:30～(17:00より受付)  
場所：ワークピア横浜 かもめ・やまゆり  
(横浜市中区山下町24-1)  
会費：一般料金 ..... 7,000円  
特別料金(現旧職員) ..... 5,000円  
(ご夫婦) ..... 10,000円  
(学生) ..... 1,000円

## ■ワークピア横浜にて懇親会を開催!!

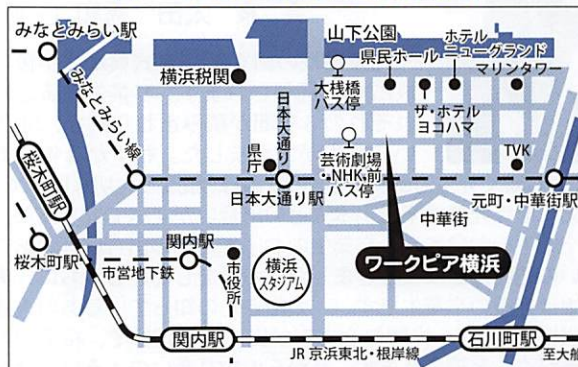
今年度も昨年度に引き続き、ワークピア横浜にて懇親会を開催いたします。総会からご参加いただく方には、懇親会会場まで光陵会で交通手段をご用意させていただきます。

※特別料金(ご夫婦)はパートナーが光陵高校の卒業生でなくても結構です。

※ご不明な点等ございましたら、光陵会ホームページまたは下記メールアドレスまでご連絡ください。

URL: <http://koryokai.jp/> MAIL: [staff@koryokai.jp](mailto:staff@koryokai.jp)

### (ワークピア横浜までの案内)



#### アクセス

|         |   |       |
|---------|---|-------|
| みなとみらい線 | 日本大通り駅3番出口                                | 徒歩2分  |
| JR根岸線   | 関内駅南口                                     | 徒歩15分 |
| JR根岸線   | 石川町駅北口                                    | 徒歩13分 |
| 横浜市営バス  | 26系統 大棧橋下車<br>2,8,20,58,109系統 芸術劇場・NHK前下車 |       |

お手数ではございますが、ご都合の程を同封のハガキにて5月14日(火)までにお知らせください。また、当日の飛び込み参加も歓迎いたします。是非お越しください。その場合には、メール(staff@koryokai.jp)へご連絡いただければ幸いです。尚、当日は駐車場所をご用意しておりませんので、お車でのご来場は固くお断り申し上げます。

## 5期、15期、25期、35期(卒業アニバーサリー期)の皆様へ

今年卒業40年、30年、20年、10年を迎えられる5期、15期、25期、35期の皆様には『卒業アニバーサリー期』として特にお集まりいただきたいと考えております。当時担任をされていた先生方にも是非お声掛けをお願いいたします。皆様お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

### ～同期会・クラス会を開こう～

年に一度せつかくの機会ですので、同期会・クラス会を開催される方もいらっしゃるかと思います。光陵会では同期会・クラス会を開催するためのサポートを行っております。懇親会の二次会はもちろん、その他の日取りでの開催でもお気軽にご相談ください。

光陵会事務局メールアドレス: [staff@koryokai.jp](mailto:staff@koryokai.jp)

### 同窓生向けのSNSのお知らせ

卒業後の交流の場として同窓生向けのSNSが運営されています。加入希望、お問い合わせはこちらへお願いいたします。

URL: <http://www.koryo.gr.jp/sns/>  
MAIL: [koryo-kai-request@koryo.gr.jp](mailto:koryo-kai-request@koryo.gr.jp)  
運営: 光陵会メーリングリスト(koryo.gr.jp)

特集

1

## 震災から2年、被災地支援を続ける卒業生

## 臺 有桂さん 18期生 — 街の保健師 —

みなさんは保健師という職業をご存知でしょうか。保健師とは、赤ちゃんから高齢者まですべての人々の生活環境を、様々な角度で気にかけて私たちの健康を守ってくれている人たちのことです。身近なところでは地域の保健所や企業の診療所、産後の赤ちゃん訪問などに携わっています。

平成24年12月19日、保健師である18期卒業生の臺有桂(ダイユカ)さんにお話を伺ってきました。臺さんは、横浜市立大学の准教授としても活躍されています。



保健師として後方支援を行っている  
18期卒業生 臺さん

臺さんは保健師のことを「街の保健室」「緑の下力持ち」と表現していました。街の保健室として、ひとりひとりに合わせた健康をサポートするだけでなく、自分から街に出て住民の方々とコミュニケーションをとり、常に街の状況を気にかけているそうです。

その仕事内容は表立ったものではなく、影から私たちを支えています。

保健師は東日本大震災の被災地でも影から支援を行っていました。日々の業務で培った住民との繋がりを駆使し、避難所に避難せず自宅や親戚のもとに身を寄せた方々を支えるという、保健師ならではの支援でした。

臺さんは被災地に行き直接の支援をしたかったのですが、様々な理由で直接的な支援はできませんでした。そこで、現地で保健師の後方支援に尽力しました。

例えば、岩手県看護協会が主催した保健師研修では、未来の見え

ない中でも自信を持って支援を続けてもらえるよう「今やっていることは大事なことだ」と現地の保健師たちを支援していました。また、少し先のビジョンを見据え現地の保健師とアイデアを共有し「今だからこそ原点の保健活動。人が生き生きと暮らすためにどのような街づくりをしたらいいのか」と、改めて考えました。

後方支援を行っていく中で臺さんは、「保健師の仕事は住民同士のネットワークの中に成り立っている。現地の方々は震災でより一層、人との結びつきの大切さを痛感していて、崩れてしまったものを再び築き上げていくことが今後の課題だ。」と感じたそうです。いま被災地と各地にある避難先では、保健師が手探りで住民たちに聞き込みを行いながら、震災でバラバラになってしまった街のネットワークを再構築する作業を行っています。

臺さんはこの後方支援を通じて、保健師という仕事について「住人の方々からは気づかれにくい仕事だけど、人の暮らしに密着して幅広いことができて面白い。自分だけでは限界があるけど色々な人と関わりをもちながら仕事をする面白さがあるから続けられる。」と話してくださいました。

臺さんにお話を伺うまで、私は保健師という職業を知りませんでした。このインタビューを通して、今までにも知らないうちに保健師との関わりがあったこと、私たちの生活を支えてくれている仕事だということを知りました。また、被災地においてこういった形での支援が存在していたことを知り、震災のショックが徐々に落ち着き始めた今、震災がもたらしたものを改めて見つめ直す必要があると感じました。

みなさんに、震災後の保健師の活躍、そしてこれからも様々な形で支援が不可欠な状況があることを知っていただければ幸いです。

(44期 木村 翔太郎)

## 金子翔太郎さん 42期生 — 被災地への宅救便 —

平成24年12月3日、42期卒業生の金子翔太郎さんにお話を伺いました。金子さんは東日本復興プロジェクト「参考書宅救便」の学習院支部の代表として活動されています。宅「急」便ではなく、宅「救」便となっているのは、被災地の方々を救うという意味が込められているからだそうです。

— 参考書宅救便とは具体的にどのような活動なのでしょう？

金:基本的には本を集めて被災地にお届けしています。やはり学生向けの参考書が多いのですが、被災地の方々からのご要望によってその他の本もお送りしています。本は近くの書店で買ったり、参考書は学生にもらったりして集めています。

— 参考書宅救便を始めようと思ったきっかけは何ですか？

金:震災前に南相馬市で野球部の合宿をしたことがあり、復興に携われるきっかけがあればと思っていました。大学の授業で参考書宅救便の活動をされている方と知り合うことができ、これなら学生という立場でも復興に携われると思い活動を始めました。

— 活動していく上で、苦労していることはありますか？

金:被災地の方々は、単純に私たちがこうしたいと思うことを望んでいなかったり、反対に私たちが気づかないようなことを望んでいたりもします。やりたいことをやるのではなく、被災地の方々が本当に必要としている支援をするように心がけています。活動が一人称で完結しないことはやはり苦労している点ですね。また、当初は本を集めて送るという活動のみでしたが、活動を続けていくうちに被災地の経済発展も考慮するようになってきました。今は現地で本を購入するなどして、被災地の経済に貢献できるよ

うな活動へと変化してきています。本を送るだけでなくもっとたくさんの本を届けることができるのと思うのですが、本当の支援とは何か、ということも考えていかなければならないので難しさを感じます。被災地の方々とは今後も長期的に関わっていくつもりですが、この先ずっと同じ支援をしていければ良いとは限りませんし、今後求められてくることも変わっていくはず。そういった意味では今後の支援の仕方を考えていくこともやはり大変なことだと思います。でも、被災地の受験生から「送っていただいた参考書のおかげで志望校に受かりました」といったメッセージが届くと嬉しいです。やりがいを感じます。今後も被災地のニーズに応えられるような支援を続けられるよう、頑張っていこうと思います。



活動への熱意を語る42期卒業生 金子さん

金子さんのお話を伺い、学生であっても、独自の視点とその行動力によって被災地の支援ができるのだと実感しました。金子さんのように被災地の方々のことを第一に考え、支援を続けようとする気持ちが大切なのだと思います。金子さんをはじめ様々な方の活動によって、被災地がいち早く復興していくことを願っています。金子さん、ありがとうございました。(44期 佐藤 蒼)

**特集**  
**2**
**光陵50周年に向けて**  
**副会長(9期中濱) × 局長(43期内山)対談**

平成24年12月1日、光陵高校9期卒業生で光陵会副会長の中濱こずえさんと光陵会事務局長内山さんによる対談が行われました。中濱さんは上智大学の英語学科を卒業後、特許翻訳者として現在も活躍中です。また24年度から光陵会副会長に就任し、光陵会の運営にも携わっています。幅広いフィールドで活躍する中濱さんと、学生ながら同じく精力的に活動する内山さんが光陵について熱く語りあいました。

内山(以下、内): それでは光陵会副会長になられた中濱さんと対談を始めさせていただきます。よろしくお願いします。

中濱(以下、中): よろしくお願いします。

内: 中濱さんご自身のお話と光陵についてのお話を伺いたと思います。早速ですが、中濱さんは特許翻訳者というお仕事をされていますが、具体的にはどのようなことをされているのでしょうか?

中: 翻訳者の中でも私は特許翻訳者として技術的な文書を翻訳する仕事をしています。ご存知のように特許というのは知的財産の一つです。新しい技術を出したときに特許の申請をしますが、世界的には複数の国において申請を行うことが今や普通になっています。日本中のあらゆる部門から海外で特許申請を行いたいというニーズが絶えずあり、日本語で書かれた特許文書を英語へと翻訳しています。

内: 翻訳と聞くと本や映画というイメージがありますが、それだけではないのですか。

中: 翻訳のニーズが一番多いのは実は技術文書の翻訳なのです。あとは法律関係など日常の業務の中で必要となる書類を翻訳することでしょうか。英語を読める方は多いので、翻訳が必要となるのは契約書などの正式な文書ぐらいですが。

内: 特許翻訳の面白さは何でしょうか。また、最近のもので印象に残っているものはありますか?

中: やはり特許を取るような最新技術、特に新聞やテレビで話題になっているものにいち早く触れることです。ここ10年ほどは車関係の申請が多く、特にハイブリッド車に関連するものが目立ちます。またそれらを海外に申請するために英語にしていますし、あるいは海外で既に申請されている特許文献の調査のために和訳をすることも必要になりますから、社会の動きを一步早い段階で見ることができるといふ楽しさがありますね。今日帰ってからやらなきゃいけないのは、コーヒーメーカーからの依頼なんですけどね。

内: 最先端の技術を翻訳者という立場で追いかけていらっしゃるのですか。ところで、中濱さんは上智大学の英語学科をご卒業されていますが、学生時代から翻訳というお仕事に興味を持たれていたのですか?

中: 将来、英語を使うような仕事に就きたいとは思っていたのですが、大学時代にはそれほど大きな目的はありませんでした。ただ他のこととは違って、英語だけはやっていて飽きること



光陵会副会長の中濱(左)と局長の内山(右)

はありませんでした。

内: 本当に英語がお好きなんですね。

中: どうなのでしょうね。ただ言葉というものは面白いと思っています。

内: 中濱さんはたくさんの国に旅行されていますが、旅行先でも英語力は活かすことができますよね。

中: そうですね。今や英語は英米人だけが話す言葉ではありません。どこの国を旅行していても、英語が話せる人はいますし、ある程度のコミュニケーションを取ることができます。世界共通語としての意味は大きいと思いますね。

内: 中濱さんのプライベートについてもお聞きしたいと思います。私は、食べることが好きで友達と一緒に洒落なカフェを巡ることに夢中なのですが、中濱さんは何か今凝っていることがありますか?

中: やっぱり食べることは楽しみですね。美味しいもののためならどこへでも行けますね。

内: 同じ女性として共感します。美味しいものは別腹ですよ。どこかオススメのお店はありますか?

中: 日本?(笑)

内: そうですね、外国だと真似できる会員の方は少ないかなと(笑)。

中: 以前、フランスのプロバンスにあるチョコレート専門店が銀座に出店したので光陵の友人と一緒に行ってきたんですが、とても美味しかったですよ。今度行ってみてください。やっぱりスイーツは良いですよ。別腹が2つも3つもある感じで。

**光陵に愛着をもっている人が多いです。**

内: 同窓生の皆さんとはよく交流されているのですか?

中: 光陵は独自の歴史あるSNSを持っていて、そこで知り合った方々ともう何年もSNSでやり取りをしています。初めてお会いした方も、まるで同級生だったんじゃないかと思うくらいに話が分かりあえるという関係がとても新鮮ですね。

内: SNSを利用して、同窓生との交友関係が広がったのですか?

中: 離れていても交流できるようになった時代というか。インターネットを使うと世界中の人と時差もそれほど関係なくお話しできたり、情報交換もできますよね。高校・大学時代よりも交友関係が広がっているんじゃないかと思うくらい。

内: 私も11月に行われた校歌祭に参加したのですが、卒業年に関係なく皆さんがとても仲良く交流されていて驚きました。このような交流は光陵高校以外では珍しいと思います。

中: 本当にそう思いますね。独自のSNSを持っている同窓会自体が少ないと思いますし、初対面でも話が弾むところが良いですよ。

内: そうですね。光陵に愛着を持っている方が本当に多いと感じます。

## 光陵は2年後、50周年を迎えます！

内：光陵は2年後の50周年に向けて記念行事を計画していますが、これまでの記念行事と異なる点がありますか？

中：これまでの記念行事は教職員やPTAの方々を中心に、学校の行事として催されてきました。卒業生が直接携わるということではなかったと思います。今度は50周年という大きな節目となるので、学校だけでなく、地域の方々や同窓生たちを交えて着々と準備を進めています。光陵の力をもってすれば大変素晴らしい記念行事にすることができると思います。

内：50周年に向けて中濱さんは記念誌の制作に関わられていますが、どのような計画がありますか？

中：これまでの記念誌は手作り感のあるアットホームな冊子でしたが、50周年の記念誌は神奈川新聞社に依頼して大きな写真入りのハードカバーのものを作っていかうと考えています。現在、方針が決定し、構成をどのようにするか具体的な検討に入ったところです。

内：記念誌の他にもたくさんの企画が動いていくと思いますが、今後の光陵に期待することや、現役生や卒業生へのメッセージをお願いします。



中：2年後の現役生は光陵が50周年だから入学してきているわけではないと思います。ですが、まさに校歌のように自分たちの先輩がどのように光陵で育ち、光陵を創ってきたのか、それをぜひ見ていただきたいですね。卒業生の皆さまにとって光陵の軌跡、とりわけ歴代の光陵生たちがどのような気持ちで高校生活を過ごしてきたかを確認していただき、それが自分の中でどのように活かされてきているかを見つめ直すいい機会になると思っています。そのための記念誌制作に必要な資料のご提供をお願いすることがあると思います。

内：記念誌にはグラビア写真も載るといことで、個人で所有している写真も募集すると聞きましたが？

中：そうですね。卒業生の皆さまが持っている思い出の写真が、長く残る記念誌の中で生き続けていく伝統の一つになりますので、ご協力いただければ幸いです。

内：事務局も今年度から本格的に50周年寄附の取りまとめを行っていく予定です。高校生活が懐かしい方も、そうでない方も光陵の50年を見ていただきたいと思います。光陵の3年間があったからこそ、大学生活や社会に出てからの生活があると思います。ぜひこの50周年を機会にご自身の中にある光陵を見直していただければと思います。中濱さん、今日は本当にありがとうございました。

中：ありがとうございました。

終始楽しそうに話すお二人から、同窓生同士で共有できる光陵への想いの強さとこれからの期待を感じました。また、世代を越えた縦のつながりは非常に貴重なものであり、光陵がもつかけがえのない財産であると感じると共に、光陵会の活動を通して様々な世代の方とかわりを持てることをたいへん嬉しく思いました。対談の中でも話題になりましたが、2年後光陵は50周年を迎えます。それにあたって事務局をはじめ、多くの方が着々と準備を進めています。50周年記念行事は光陵にとって大きな節目となることと思います。光陵を築いてきた皆さまのお力添えをぜひともよろしくお願いいたします。

(44期 北原 将)



## YNUビジネスプランコンテスト3位入賞

平成24年10月、横浜国立大学主催のビジネスプランコンテストに光陵高校の2年生チーム「NGR」が特別参加し、並みいる大学生チームを抑え3位の学長賞という素晴らしい成績を収めました。このビジネスコンテストは、横浜国立大学経営学部の後援のもと、実社会で活躍できる学生の輩出に向け平成17年より毎年開催されています。昨年は全学部から162人35チームが参加しました。光陵2年生チーム「NGR」は、必要な量の飲み物を購入できる「ドリンクスタジオ」を県内高校に設置するプランを提案しました。これは、ペットボトル1本の原価計算を行い、さらにペットボトルの消費量削減といったエコの視点に加え、高校生のお財布事情を考えるなど、高校生らしい素晴らしいビジネスプランでした。コンテストの参加をとおして、現役生がさまざまな調査をし、自ら積極的に動き、その成果を発表するという社会でも必要とされる力を、一歩先行くはずの大学生に負けず示しました。今後もこのような機会に多くの光陵生が参加し、実力を発揮していくことを期待しましょう。

(43期 元尾 太一)

平成24年受験結果 (平成23年度44期生進路状況) 一覧

I. 全体的な状況

(1)平成24年3月卒業生

Table with 2 columns: 卒業生数, 就職者数, 進路希望者数, 同上の割合. Values: 233, 0, 233, 100%. 延受験者数 1,510, 延合格者数 480, 同上の割合 31.8%.

(2)過年度卒業生

延合格者数 207



(2)私立大学

Table of private university exam results for 2024 and 2023. Columns: 学校名, 平成24年 (総数, 現役), 平成23年 (総数, 現役).

Table of private university exam results for 2024 and 2023. Columns: 学校名, 平成24年 (総数, 現役), 平成23年 (総数, 現役).

Table of private university exam results for 2024 and 2023. Columns: 学校名, 平成24年 (総数, 現役), 平成23年 (総数, 現役).

(3)短期大学

Table of short-term university exam results for 2024 and 2023. Columns: 学校名, 平成24年 (総数, 現役), 平成23年 (総数, 現役).

(4)各種・専門学校

Table of vocational school exam results for 2024 and 2023. Columns: 学校名, 平成24年 (総数, 現役), 平成23年 (総数, 現役).

(1)国立大学

Table of national university exam results for 2024 and 2023. Columns: 学校名, 平成24年 (総数, 現役), 平成23年 (総数, 現役).

寄付のご報告

光陵会では昨年度の「防災倉庫」に続き、高校から要望のあった「一文字幕」を寄付しました。今回の寄付は3月に卒業した45期の卒業奇贈品「袖幕」に合わせて選定されました。「一文字幕」は中心に校章を誂え、体育館の舞台上部に設置されました。これから、光陵高校の式典の数々を彩り、多くの光陵生を見守ることでしょう。そのような幕を45期卒業生と共に寄付できたことは大変嬉しく、価値のあるものとなったと感じています。光陵会では来年度も引き続き寄付活動を行う予定です。今後も意義のある活動をしていきたいと思います。

(44期 松尾 理矢子)



Table of club activities for 2024. Columns: 部活, 成績. Includes Soccer, Music, Drama, Arts, and Baseball.

Table of staff changes. Section: 教職員異動. Sub-section: [平成24年3月 転出者]. Lists names, positions, and destinations.

Table of staff changes. Section: 氏名, 教科, 転出先. Sub-section: [平成24年4月 新着任者]. Lists names, positions, and destinations.

平成24年度  
総会報告

昨年6月2日に平成24年度総会を光陵高校第一視聴覚室で開催いたしました。議事内容は全てにおいて賛成多数で承認されましたことをご報告いたします。議事項目は以下の通りです。

- 一. 平成23年度決算報告 (ごんた坂第17号7ページ参照)
- 二. 平成24年度予算審議 (同上)
- 三. 平成23年度役員解任 (同上)
- 四. 平成24年度役員承認 (同上)

また、活動報告の部では、高校への寄付 (防災倉庫)、キャリアガイダンス、校歌祭のご報告をいたしました。

本年度の総会はごんた坂本号2ページにてご案内させていただいております。皆さまお誘いあわせの上ご参加ください。 (43期 八重野 なつき)

光陵会賛助金芳名簿

この度、光陵会運営のため賛助金を募りました。以下の通り、皆様の温かいお心遣いをいただきましたことを深く感謝いたしますとともに、ここにご報告いたします。今後も引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。

- (1-1) 千葉 孝 (2-2) 太田 秀和
- (4-1) 大道 正夫 (4-1) 山本 勉
- (4-2) 田中 博之 (5-1) 古藤田謙治
- (5-2) 川越 桂 (25-3) 小野 敏路
- (31-3) 佐藤 正知

※敬称略

会計報告

平成24年度決算

(収入の部)

|          |             |
|----------|-------------|
| 入会費・終身会費 | ¥2,340,000  |
| 懇親会会費    | ¥471,000    |
| 賛助金      | ¥47,000     |
| 名簿売上     | ¥12,000     |
| その他      | ¥3,040      |
| 前年度繰越金   | ¥19,151,885 |
| 合計       | ¥22,024,925 |

(支出の部)

|         |             |
|---------|-------------|
| 通信費     | ¥113,170    |
| 印刷費     | ¥31,270     |
| 事務費     | ¥15,901     |
| 運営費     | ¥441,774    |
| 交通費     | ¥201,560    |
| 懇親会費    | ¥537,922    |
| H P 運用費 | ¥49,890     |
| 会報費     | ¥490,565    |
| 校歌祭費    | ¥76,000     |
| 光陵祭費    | ¥43,173     |
| 高校寄付費   | ¥199,500    |
| 設備予備費   | ¥18,180     |
| 合計      | ¥2,218,905  |
| 収支差額    | ¥19,806,020 |

平成25年度予算案

(収入の部)

|          |             |
|----------|-------------|
| 入会費・終身会費 | ¥2,300,000  |
| 懇親会会費    | ¥450,000    |
| 賛助金      | ¥50,000     |
| 前年度繰越金   | ¥19,806,020 |
| 合計       | ¥22,606,020 |

(支出の部)

|         |             |
|---------|-------------|
| 通信費     | ¥120,000    |
| 印刷費     | ¥30,000     |
| 事務費     | ¥30,000     |
| 運営費     | ¥500,000    |
| 交通費     | ¥200,000    |
| 懇親会費    | ¥500,000    |
| H P 運用費 | ¥30,000     |
| 会報費     | ¥500,000    |
| 校歌祭費    | ¥82,000     |
| 光陵祭費    | ¥60,000     |
| 高校寄付費   | ¥200,000    |
| 設備予備費   | ¥100,000    |
| 合計      | ¥2,352,000  |
| 収支差額    | ¥20,254,020 |

役員・事務局紹介

平成24年度光陵会役員

|      |   |
|------|---|
| 会長   | 太田 秀和 (2期生)   |
| 副会長  | 大道 正夫 (4期生) 山本 勉 (4期生)<br>古藤田謙治 (5期生) 中濱こずえ (9期生)   |
| 理事   | 藤原 真人 (22期生) 柿崎 祐一 (25期生)<br>藤原 直人 (31期生) 小西 直子 (35期生)<br>佐藤 愛美 (36期生) 播口 陽介 (36期生)<br>倉島 悠子 (38期生) |
| 監査   | 上原 武 (25期生) 高橋 芳昌 (33期生)<br>増田 祐徳 (36期生)  |
| 事務局長 | 内山 唯 (43期生)   |
| 副局長  | 柘植 貴之 (41期生) 佐藤 楓 (42期生)<br>山本 航介 (43期生) 木村翔太郎 (44期生)   |
| 会計   | 菊名 直人 (42期生)  |
| 会計補佐 | 平井 裕夏 (42期生) 藤居 悠人 (43期生)<br>野村 茉央 (44期生)   |
| 書記   | 八重野なつき (43期生) 元尾 太一 (43期生)<br>松尾理矢子 (44期生)  |

平成25年度光陵会役員・事務局 (案)

|      |  |
|------|--|
| 会長   | 太田 秀和 (2期生)  |
| 副会長  | 大道 正夫 (4期生) 山本 勉 (4期生)<br>古藤田謙治 (5期生) 中濱こずえ (9期生)  |
| 理事   | 藤原 真人 (22期生) 柿崎 祐一 (25期生)<br>藤原 直人 (31期生) 高橋 芳昌 (33期生)<br>小西 直子 (35期生) 佐藤 愛美 (36期生)<br>播口 陽介 (36期生) 倉島 悠子 (38期生)<br>柘植 貴之 (41期生) |
| 監査   | 上原 武 (25期生) 増田 祐徳 (36期生)<br>金子 周平 (38期生)   |
| 事務局長 | 木村翔太郎 (44期生)   |
| 副局長  | 内山 唯 (43期生) 山本 航介 (43期生)<br>松澤 立矢 (45期生) 村上 将 (45期生)   |
| 会計   | 北原 将 (44期生)  |
| 会計補佐 | 藤居 悠人 (43期生) 佐藤恒太郎 (45期生)<br>山下裕太郎 (45期生)  |
| 書記   | 八重野なつき (43期生) 松尾理矢子 (44期生)<br>安藤えり子 (45期生)   |



## 会報発行協力金のお願い

会報発行協力金にご協力いただき、誠にありがとうございます。  
 本会報の発行費用は平成21年より会報の発行を名簿委託業者であります(株)サルトと共同事業とした独立採算制とし、会員の皆様にはその会報発行費用を賛助協力金として1口2,000円をお願いしております。本年度もコンビニエンスストアで決済可能な振込用紙を、失礼を承知の上同封させていただきました。

光陵会事務局は今後も継続して母校への発展寄与のため、尽力してまいりたいと一同強く願っております。何卒、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また、従来からお願いをさせていただいております光陵会への直接の賛助金も受け付けておりますが、これを機会にぜひ会報発行協力金にご賛同いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- ※ 会報発行協力金は発行費用を上回ります賛助協力金をいたした場合は、その8割が光陵会への賛助となります。
- ※ 同封の振込用紙は、郵便振込を利用されますと金額の訂正が可能となります。コンビニエンスストアを利用される場合は一律2,000円となりますのでご注意ください。

### ご意見募集のお知らせ

同封させていただきました「総会・懇親会出欠ハガキ兼委任状」に、自由記入欄を設けました。皆様から寄せられたメッセージは来年度の会報にてその一部を掲載させていただこうと考えております。ぜひ皆様の近況・お知らせ・つぶやき等何でも構いませんので、光陵会に寄せていただけますと幸いです。



## 光陵卒業生人材バンク 登録のお願い

光陵高校では、現在卒業生による「キャリアガイダンス」を実施しています。これは、様々な分野で活躍する卒業生が講師となつて、自らの勤労観・職業観、これまで経験してきた仕事や若き日の進路選択などについて現役生にお話しし、現役生が将来を考える参考にしてもらうというプログラムです。平成17年度から実施されており、毎年約20名の卒業生が参加しています。このプログラムの講師を募集しております。趣旨に賛同し、講師として参加していただける方は、「光陵高校内光陵会」宛に書簡を出していただくか（住所：〒240-0026 横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1）、光陵会副会長大道正夫宛（omichim@nifty.com）にご連絡ください。



## 青春かながわ校歌祭

今年で第8回となる校歌祭ですが、光陵は第2回から参加しています。伝統校が歴史を感じさせる校歌や応援歌を披露するなかで、ひととき異彩を放つ私たちの混声四部の歌声を、今年もまた響かせたいと思います。

練習は光陵の音楽室などをお借りして行っています。練習日の予定や参加費（昨年は500円）についての詳細はホームページ・SNSでお知らせします。

今年も多数の方の参加をお待ちしています。

### ～開催案内～

日時：平成25年9月28日（土）

会場：神奈川県立青少年センター（横浜市西区紅葉ヶ丘9-1）

主催：かながわ校歌振興会 共催：神奈川県教育委員会



## 会員名簿の取扱いについて

光陵会では平成22年5月に会員名簿を発刊いたしました。集めさせていただいている個人情報プライバシーマーク取得企業で名簿委託業者の(株)サルトとともに厳重に管理しておりますが、昨今光陵会の名を騙り、会員の皆さまのご自宅・勤務先への問い合わせや勧誘・物品販売などが行われているようです。これらは光陵会とは一切関係ございませんので、内容を確認の上、適切にご対応くださいますようお願い申し上げます。

また、昨年神奈川県警の協力要請を受け、振り込め詐欺予防のために当会名簿を貸出いたしましたこと、本紙面をもってご報告申し上げます。なお、貸出に至っては利用目的を限定した上、書面を取り交わしております。会員の皆さまのご理解をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

会員名簿のご購入を希望される方は下記までお問い合わせください。光陵会事務局よりお手続きの詳細についての連絡をさせていただきます。事務局の定例作業等での対応となりますため、ご入金の確認後1カ月程度のお時間をいただいております。期間の余裕を持ってご連絡いただけますと幸いです。なお、会員名簿はお1人様1冊までとなります。

住所変更等の際には会報同封のハガキ、もしくは、名簿巻末にございます住所変更ハガキにてお知らせいただくか、下記メールアドレスまでご一報いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

## あ と が き

『ごんた坂』18号、いかがでしたか。昨年は受け取る側として見ていた会報でしたが、今年は制作する側に回らせていただきました。そうすることでこの会報が多くの方の努力と、ご支援の上に成り立っていると感じました。皆さまにも、多くの方の思いがこもったこの会報を楽しんでいただければ、これ以上の喜びはありません。

光陵は2年後に50周年を迎えます。特集記事にご協力いただいた方々のような、魅力的な卒業生を半世紀近く送り出し続けてきた母校に誇りを感じつつ、光陵会という歴史ある同窓会組織のスタッフとして、ますます活動に力を入れていかなければと感じました。

今年も総会の時期が近づいてきました。昨今では各種SNSの発達で旧友などへの連絡が簡単になっています。しかしお互いの気持ちを伝えるには、直接顔を合わせ語りあうことに勝るものはありません。久々に会って話したいけれど機会がない、という方がいらっしゃいましたら、ぜひ総会・懇親会にいらしてください。幅広い世代の方と大いに語りあわれてはいかがでしょう。皆様のご参加を心からお待ちしております。

光陵会ではSNSや光陵会Webサイト（<http://koryokai.jp/>）もご用意しております。母校や光陵会に関する情報をお探しの際にはぜひご覧ください。

最後になりましたが、会報発行にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。  
 （43期 藤居 悠人）